

南アフリカ

1. 概要

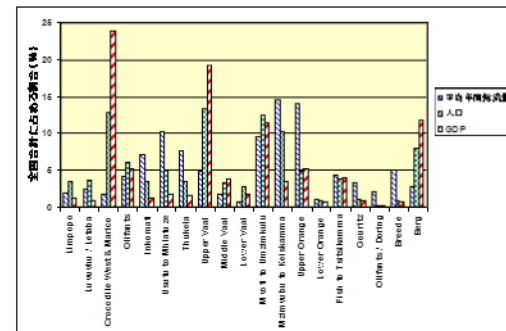
- 国土: 122万km²(日本の約3.2倍)
- 人口: 約4,868万人(2008年)
- 首都: プレトリア(行政府) ケープタウン(立法府)、ブルームフォンテン(司法府)の3都市に分かれている
 - 経済の拠点となっている都市はプレトリアに隣接するヨハネスブルクであり、アフリ大陸一の金融センターとなっている

2. 特徴

- 地理・気候
 - 国土の大部分は標高1200mの高原台地
 - 西部には小さな海岸平野、北西部にはカラハリ砂漠がある
 - 南東部には標高3000mを越えるドラゲンスバーグ山脈がある
 - 気候は多様であり、西部は温帯の乾燥気候、南部は地中海性気候、東部は西岸海洋性気候、内陸部はサバナ気候となっている。年間の平均雨量は約450mmと世界平均の860mmを大きく下回っている
- 経済情勢
 - 南アフリカは、サブサハラ・アフリカの全GNPの3割以上を占め、アフリカ経済を牽引している
 - ダイヤモンド、金等の鉱業主導で成長し、これによって蓄積された資本を原資として製造業及び金融業が発展していた
 - 近年は金融保険(1990年の対GDP比は14.5%)の割合が拡大
 - 2006年のGDP部門別内訳は、農業2.7%、鉱工業30.9%、サービス業66.4%
- 水資源
 - 大河や航行可能な河川は存在せず、全国の河川の年間総流量は合計しても49,200百万m³/年となっている
 - ほとんどが硬岩地質でおおわれているため、大規模な地下水利用はみられない
 - 水資源の分布も時空間的な偏りが多い大きな河川が多く、通常流量が少なくても、洪水等の災害も発生する。
 - 主な河川のうち4河川は国際河川であり、その流域は南アフリカの国土の60%、そして流量は全国の河川の30%を占め、GDPの約70%はこれら河川の水によって支えられているため、国際河川の管理も南アフリカにとって重要な課題となっている。
- 水利用
 - 農業用水が62.6%、水道用水が31.2%、工業用水が6%
 - 人口一人当たりの取水量は270.6m³/年(日本の約2.5分の1)
 - 利用している水のほとんどは地表水



南アフリカの主な河川



水管理区域別の平均年間総流量、人口および経済活動の比較

南アフリカの水に関する主な動き

3. 上下水道事業

- 上水道
 - 人口の約54%が上水道による給水サービスを受けている
 - 民間セクターによる上下水道事業への参入も活発となっている
- 下水道
 - 下水道については39%の人口が接続されている

4. 水に関する行政機関

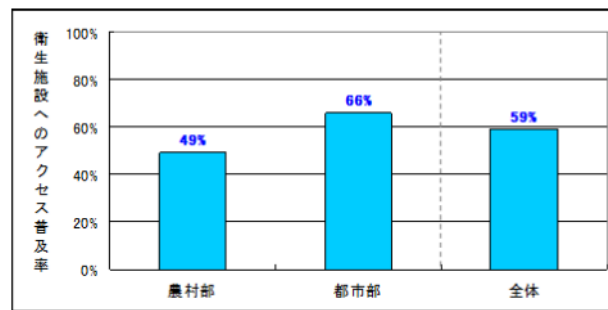
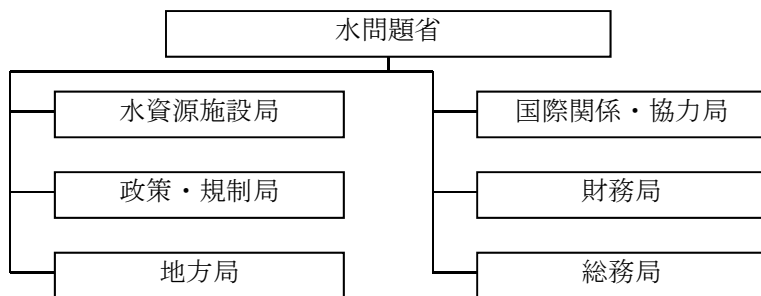
- 水問題省
 - 水分野に関する政策の策定と実施
- 農業・森林・漁業省
 - 持続可能な農業と地域開発を責務としている
 - 食料へのアクセス、農業分野における成長等の最大化、天然農業資源および生態系の持続可能な管理

5. 水に関する政策

- 水に関する基本計画
 - 1996年に水法の原則、さらにこの原則に基づき1997年に国家水政策が策定された。
 - 憲法の権利章典は「水への公平なアクセス」「持続可能な水利用」「効率的かつ効果的な水利用」の実現といった水資源を管理する基本的な目的を述べている
- 国家水資源戦略
 - 1998年に制定された国家水法により、水問題省の大臣により国家水資源戦略を策定
 - 目的は国家的見地から水資源管理の戦略的な実施

6. 課題とニーズ

- 総合水資源管理
 - 水資源は時空間的な偏りが著しい
 - 多くの都市や人口集中地域が河川より離れた場所に存在
- 上下水道施設の整備および運営管理
 - 基本的な水供給と衛生施設へのアクセスを有さない人々が多い



南アフリカにおける衛生施設の整備状況

